



*hkcの文字は、
フローレンス・ナイチンゲールの
サインから取り出したものです。

Eisai News

エーザイは「患者さまと生活者の皆様の喜怒哀楽を考え、そのベネフィット向上を第一義とし、世界のヘルスケアの多様なニーズを充足する」ことを基本とするヒューマン・ヘルスケア企業を目指して、その実現に邁進しています。

No. 06-18

2006年5月9日
エーザイ株式会社

次世代のアルツハイマー病治療剤（E2012）を臨床導入

エーザイ株式会社（本社：東京都、社長：内藤晴夫）の米国臨床研究子会社エーザイ・メディカル・リサーチ・インク（本社：ニュージャージー州、社長：ミンデル・サイドリン）は、次世代のアルツハイマー病治療剤を目指すガンマ・セクレターゼ・モジュレーターである E2012 を臨床導入する運びとなりました。

アルツハイマー病の原因は完全には解明されていませんが、脳内におけるベータ・アミロイド（ $A\beta$ 40/42）の沈着により、神経細胞を破壊することが原因のひとつと考えられています。ベータ・アミロイドは、アミロイド前駆タンパクにベータ・セクレターゼやガンマ・セクレターゼが作用して生成されます。ガンマ・セクレターゼを阻害するガンマ・セクレターゼ・インヒビターは、ベータ・アミロイドの生成を抑制するとともに、正常な細胞分化に關与する Notch プロセッシングに対しても影響を及ぼすと言われており、当社はこの課題を解消することをコンセプトとして、ガンマ・セクレターゼ・モジュレーター E2012 を独自に開発しました。E2012 は Notch プロセッシングには影響することなく、ガンマ・セクレターゼの作用を調節することで、ベータ・アミロイド（ $A\beta$ 40/42）の生成を抑制することが非臨床試験で確認されています。

アルツハイマー病の次世代治療剤に対するニーズは高く、病態を改善する薬剤への期待が強まっています。当社は、ベータ・アミロイドの生成プロセスに着目し、アルツハイマー病の病態を改善することを目的とした E2012 を開発することで、こうした期待に応えたいと考えています。

エーザイは、アルツハイマー病の認知機能を改善するアセチルコリンエステラーゼ阻害剤「アリセプト」を開発したアルツハイマー病治療薬のリーダーとして、次世代治療剤の開発に向けて、原因遺伝子の探索、免疫療法、ワクチン療法など多面的に取り組んでいます。

[参考資料として本剤の概要について解説を添付しております]

以上

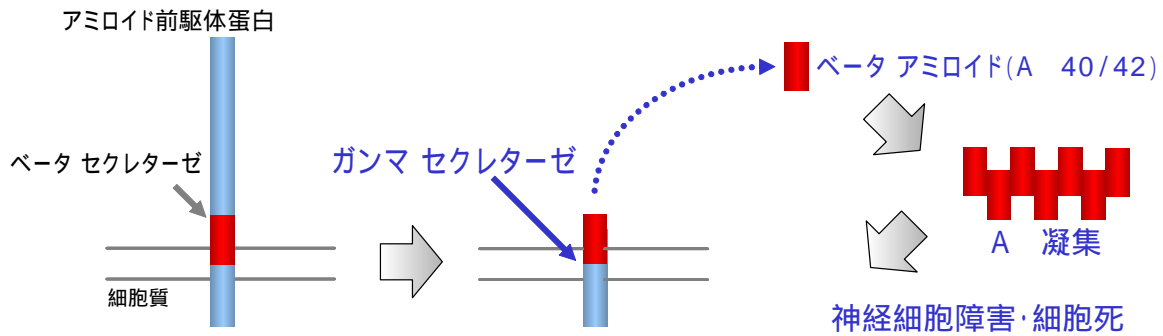
エーザイ株式会社

コーポレートコミュニケーション部
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
TEL 03-3817-5120 (ダイヤル)
FAX 03-3811-3077

[開発品概要]

アルツハイマー病の原因のひとつと考えられるベータ・アミロイド ($A\beta$ 40/42) は、その前駆物質(アミロイド前駆体タンパク:APP)にベータ・セクレターゼやガンマ・セクレターゼが作用して切り出されることにより生成されます。(図 1)

図 1



ガンマ・セクレターゼを阻害するガンマ・セクレターゼ・インヒビターはベータ・アミロイドの生成を抑制するほか、同じガンマ・セクレターゼが関与する正常な細胞分化に必要な Notch プロセッシングに対しても影響を及ぼすと言われています。(図 2)

この課題を解消することをコンセプトとして、当社はガンマ・セクレターゼ・モジュレーター-E2012 を独自に開発しました。E2012 は Notch プロセッシングには影響することなく、ガンマ・セクレターゼの作用を調節することで、ベータ・アミロイド ($A\beta$ 40/42) の生成を抑制することが非臨床試験で確認されています。(図 3)

図 2

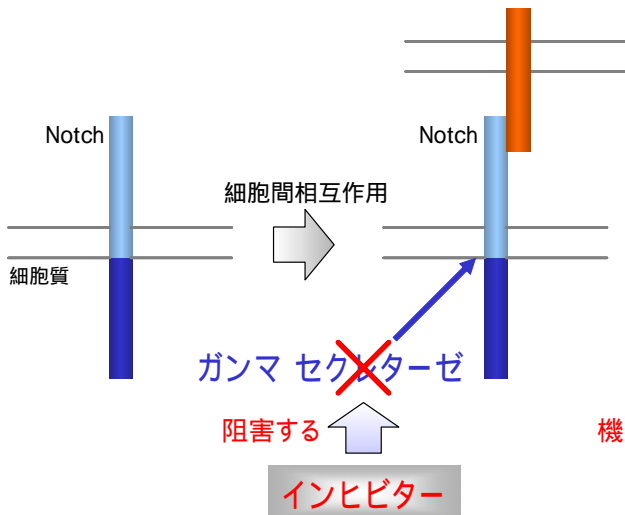


図 3

